

領 域	到 達 目 標
救命救急処置技術	①意識レベルの把握 ②気道確保 ③人工呼吸 ④閉鎖式心臓マッサージ ⑤気管挿管の準備と介助 ⑥止血 ⑦チームメンバーへの応援要請
症状・生体機能管理技術	①バイタルサイン（呼吸・脈拍・体温・血圧）の観察と解釈 ②身体計測 ③静脈血採血と検体の取扱い ④動脈血採血の準備と検体の取扱い ⑤採尿・尿検査の方法と検体の取扱い ⑥血糖値測定と検体の取扱い ⑦心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理 ⑧パルスオキシメーターによる測定
安楽確保の技術	①安楽な体位の保持 ②電法等身体安楽促進ケア ③リラクゼーション ④精神的安寧を保つための看護ケア
感染防止の技術	①スタンダードプリコーション [※] （標準予防策）の実施 ②必要な防護用具（手袋、ゴーグル、ガウン等）の選択 ③無菌操作の実施 ④医療廃棄物の規定に沿った適切な取扱い ⑤針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応 ⑥洗浄・消毒・滅菌の適切な選択
安全確保の技術	①誤薬防止の手順に沿った与薬 ②患者誤認防止策の実施 ③転倒転落防止策の実施 ④薬剤・放射線暴露防止策の実施

看護技術実施時の確認項目

- ①事故防止に向けた、チーム医療に必要なコミュニケーション
- ②安全確保対策の適用の判断と実施
- ③適切な感染管理に基づいた感染防止
- ④看護技術の意義と方法に関する患者への事前説明と同意の確保及び患者の選択権の尊重
- ⑤家族への配慮や助言
- ⑥科学的根拠（知識）と観察に基づいた看護技術の必要性の判断
- ⑦看護技術の正確な方法の熟知と実施によるリスクの予測
- ⑧患者の特性や状況に応じた看護技術の選択と応用
- ⑨患者にとって安楽な方法での看護技術の実施
- ⑩看護計画の立案と実施した看護ケアの正確な記録と評価

※スタンダードプリコーション：患者の血液・体液や患者から分泌排泄される全ての湿性生体物質（尿・痰・便・膿等）は感染症のおそれがあるとみなして対応する方法

表 2-2 助産技術についての到達目標

領 域	到 達 目 標
妊 産 婦	①レオポルド触診法 ②子宮底・腹囲測定 ③胎児心音聴取（ドップラー法、トラウベ） ④分娩監視装置の装着と判読 ⑤正常妊婦の健康診査と経過診断、助言 ⑥入院時期の判断 ⑦分娩第1～4期の経過診断 ⑧内診法 ⑨産痛緩和ケア（マッサージ、温罨法、温浴、体位等） ⑩分娩進行促進への援助（体位、リラクゼーション等） ⑪心理的援助（ドーラ効果、妊産婦の主体的姿勢への援助等） ⑫正常分娩の直接介助、間接介助 ⑬妊娠期、分娩期の異常への援助（指導の下での実施）
新 生 児	①新生児の正常と異常との判断（出生時、入院中、退院時） ②正常新生児の健康診査と経過診断 ③新生児胎外適応の促進ケア（呼吸・循環・排泄・栄養等） ④新生児の処置（口鼻腔・胃内吸引、臍処置等） ⑤沐浴 ⑥新生児への予防薬の与薬（ビタミンK ₂ 、点眼薬） ⑦新生児期の異常への援助（指導の下での実施）
褥 婦	①正常褥婦の健康診査と経過診断（入院中、退院時） ②母親役割への援助（児との早期接触、出産体験の想起等） ③育児指導（母乳育児指導、沐浴、育児法等） ④褥婦の退院指導（生活相談・指導、産後家族計画等） ⑤母子の1か月健康診査と助言 ⑥産褥期の異常への援助（指導の下での実施）
証 明 書 等	①出生証明書の記載と説明 ②母子健康手帳の記載と説明 ③助産録の記載

助産技術実施時の確認項目

①事故防止に向けた、チーム医療に必要なコミュニケーション ②安全確保対策の適用の判断と実施 ③適切な感染管理に基づいた感染防止 ④助産技術の意義と方法に関する患者への事前説明と同意の確保及び患者の選択権の尊重 ⑤家族への配慮や助言 ⑥科学的根拠（知識）と観察に基づいた助産技術の必要性の判断 ⑦助産技術の正確な方法の熟知と実施によるリスクの予測 ⑧妊産褥婦及び新生児の特性や状況に応じた助産技術の選択と応用 ⑨妊産褥婦及び新生児にとって安楽な方法での助産技術の実施 ⑩助産計画の立案と実施したケアの正確な記録と評価
--

表3 看護実践における管理的側面についての到達目標

看護実践における管理的側面については、それぞれの科学的・法的根拠を理解し、チーム医療における自らの役割を認識した上で、実施する必要がある。

領域	到達目標
安全管理	①施設における医療安全管理体制について理解する。 ②インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う。
情報管理	①施設内の医療情報に関する規定を理解する。 ②患者等に対し、適切な情報提供を行う。 ③プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う。 ④看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する。
業務管理	①業務の基準・手順に沿って実施する。 ②複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する。 ③業務上の報告・連絡・相談を適切に行う。 ④決められた業務を時間内に実施できるように調整する。
薬剤等の管理	①薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)。 ②血液製剤を適切に請求・受領・保管する。
災害・防災管理	①定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する。 ②施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する。
物品管理	①規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う。 ②看護用品・衛生材料の整備・点検を行う。
コスト管理	①患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する。 ②費用対効果を考慮して衛生材料等の物品を適切に選択する。